

約65%が暗号資産に関心あり！

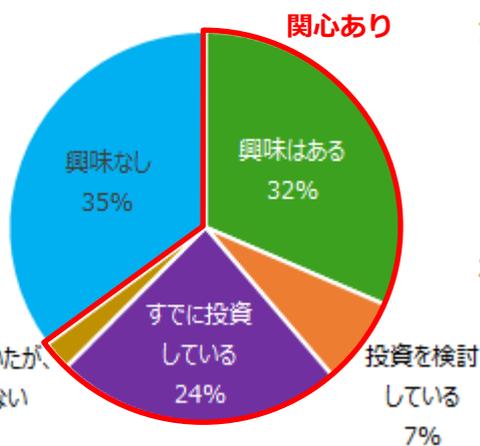
2023年初めから2025年6月末にかけてビットコイン価格が8倍超となるなど、足元で暗号資産は大きな注目を集めている。米国では2024年1月よりビットコインETFが設定されており、日本では暗号資産に関連するテーマ型株式ファンドなどが設定されるようになった。このような環境下における投資家のニーズを探るべく、暗号資産や暗号資産に関連するファンドについてアンケートを実施した。

その結果、回答者の約65%が暗号資産に関心を示していたことが分かった。また、「暗号資産関連ビジネスを行う企業の株式（以下、暗号資産関連株式）に投資するファンド」についても約58%と半数以上が関心を示す結果となった。

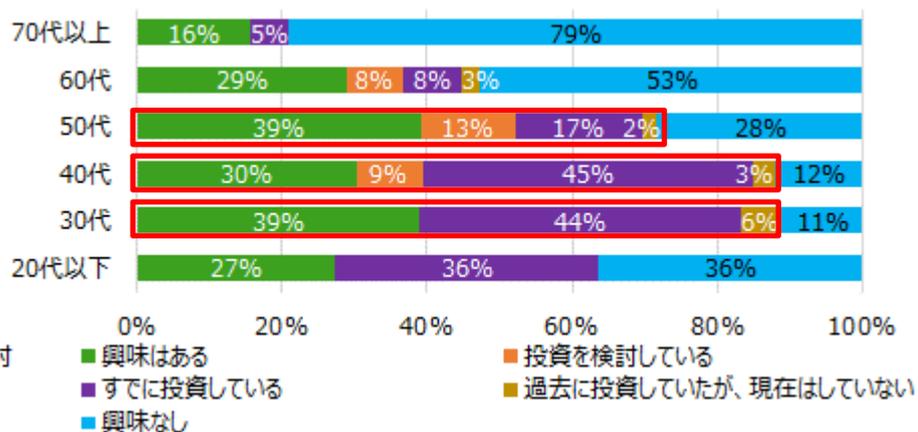
年代別では、暗号資産については「30代>40代>50代」の順に関心のある割合が多かった一方、暗号資産関連株式に投資するファンドについては「40代>50代>20代」の順に関心が高く、違いがみられた。

【暗号資産への投資に対する関心度として、最も近いものはどれですか？】

<全体>

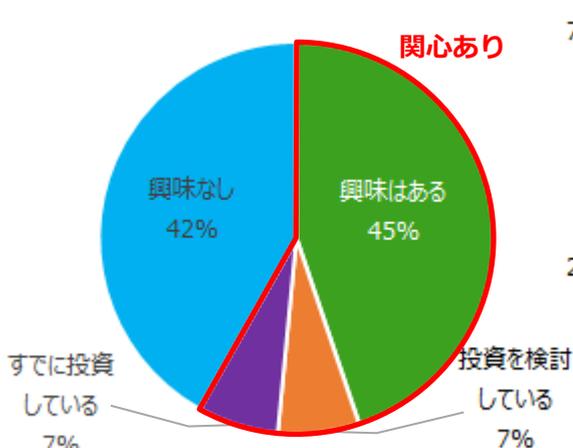


<年代別>

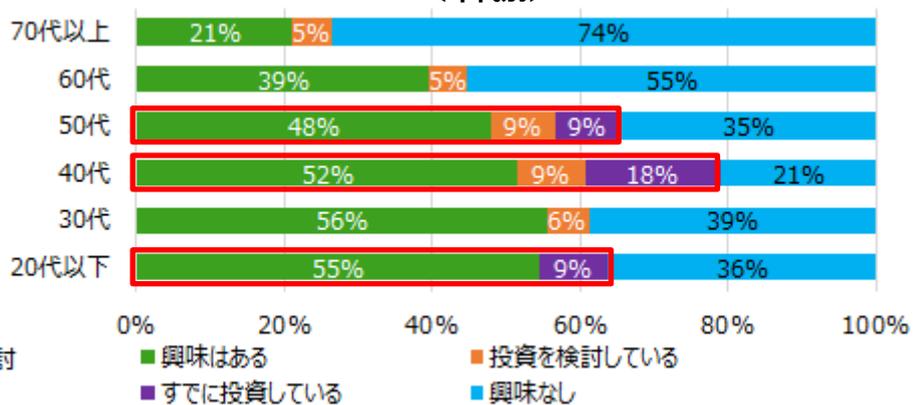


【暗号資産関連株式に投資するファンドに対する関心度として、最も近いものはどれですか？】

<全体>



<年代別>



※調査機関、調査概要についてはP3「アンケート実施概要」をご確認ください。

※比率の合計は四捨五入の関係上100%とならない場合があります。

※資産運用会社である当社のウェブサイトで行ったアンケートであるため、資産運用について詳しい方が多いと考えられ、一般的な調査の傾向と異なる場合があります。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

魅力は「高いリターンの可能性」、不安は「リスクと信頼性」

「暗号資産にどれくらい投資したいか」については、「ゼロ」が最も多く38%、次いで「5%程度」が33%であった。「暗号資産に興味なし」が35%だったことを踏まえると、暗号資産に関心がある回答者の約半数が投資資産の5%程度を暗号資産に投資したいと考えている、あるいは実際に投資をしていると推測できる。一方で、投資資産の25%程度以上を暗号資産に投資したいと考える、あるいは実際に投資している回答者も約11%おり、暗号資産に対して大きな関心・期待を寄せている投資家が一定数いるということも分かった。

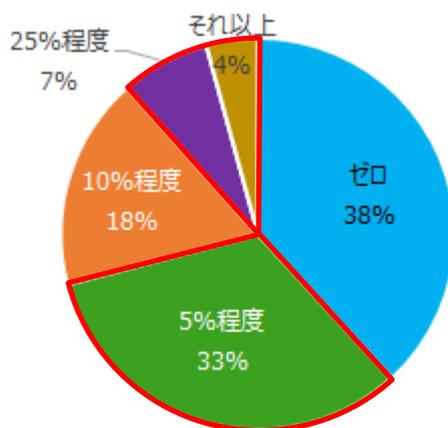
暗号資産への投資の魅力については、「高い期待リターンの可能性」が62%と圧倒的に高い結果となった。逆に、不安に感じている点については、「リスク」が58%、「暗号資産そのものへの信頼性」が57%と特に高かった。

これらのことから、暗号資産について高いリターンの可能性に魅力を感じ、関心を寄せているものの、リスクや信頼性の観点から、投資資産の5%程度を投資して様子をみたいと考えている投資家が多いと推測できる。

暗号資産やその関連市場はここ数年で爆発的な成長を遂げているものの、まだまだ若い市場。今回のアンケートでは、そんな市場に対する投資家の期待と不安が入り混じる様子が浮き彫りになったと考える。

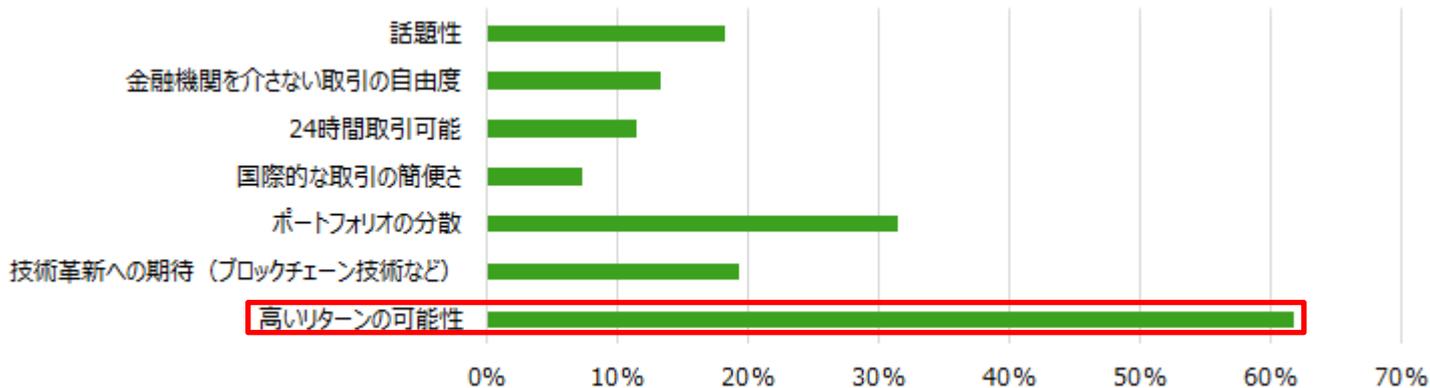
こうした新しい市場へ投資家が安心して投資をするためには、信頼できる情報の充実が特に大切と言えるだろう。

投資資産のうち、どのくらいの割合で暗号資産に振り分けたいとお考えですか？

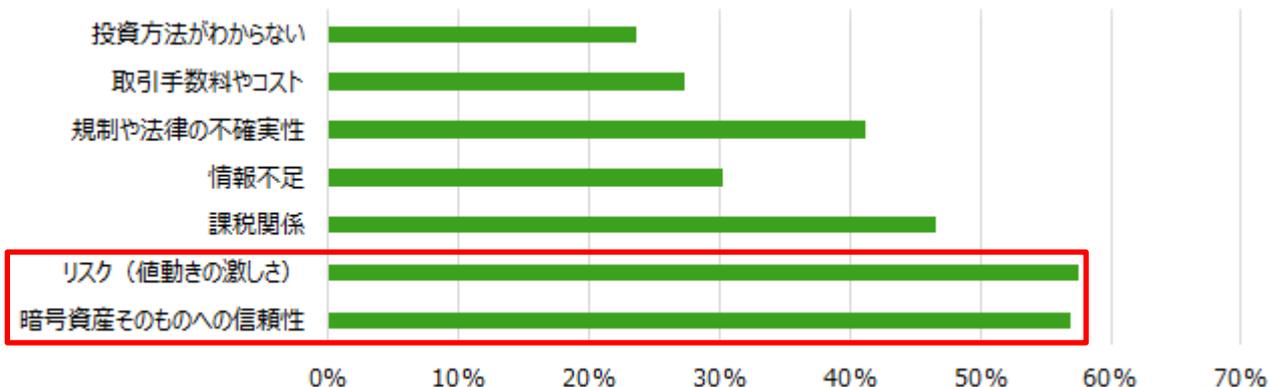


※比率の合計は四捨五入の関係上100%とならない場合があります。

暗号資産への投資について、魅力と感じる点は何ですか？（複数回答可）



暗号資産への投資について、不安と感じる点は何ですか？（複数回答可）



※調査機関、調査概要についてはP3「アンケート実施概要」をご確認ください。

※資産運用会社である当社のウェブサイトで行ったアンケートであるため、資産運用について詳しい方が多いと考えられ、一般的な調査の傾向と異なる場合があります。

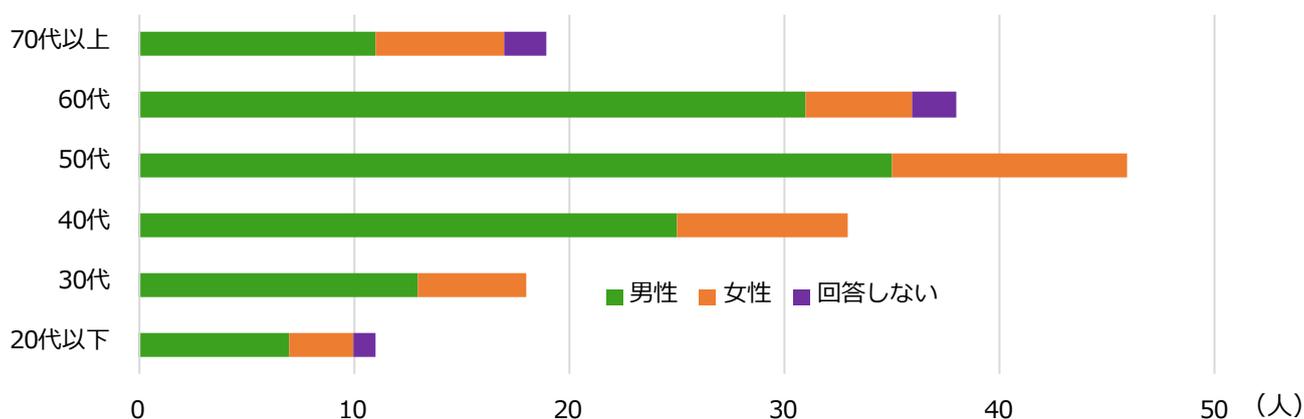
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

アンケート実施概要

- 実施方法 当社Webサイトにおけるネット調査
- 実施期間 2025年7月23日～8月5日
- 対象者 当社Webサイト訪問者等
- 回答者の属性

総回答数		165人	
性別	男性	122人	73.9%
	女性	38人	23.0%
	回答しない	5人	3.0%

回答者の年代別性別



※比率の合計は四捨五入の関係上100%とならない場合があります。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料： 上限3.85%（税込）

換金時手数料： 換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額： 上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）： 上限年率2.463%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。